



ご自由にお持ちください

# みんなのみなと

「みんなのみなと」は皆さんにとって身近な病院になりたい、皆さんと職員が一つになってこの病院を作っていききたいという思いで命名しました。



**病院の理念** 赤十字精神のもと、患者中心の良質な医療を提供して、地域の健康増進に貢献する。

今号の表紙は、作業療法士さんです。  
急性期病院として、多岐にわたる疾患の患者様を対象にリハビリテーションを行っています。

巻頭特集

## 感染症科 誕生！

### ハイブリッド手術室が完成しました

第14号

病院  
広報誌

# 感染症科が誕生しました！

## ● 感染症科とは…？

感染症科とは、「微生物」が起こす病気を診る科です。微生物には様々な種類があり、細菌、ウイルス、抗酸菌、真菌（カビ）、寄生虫のどれに感染しているかによっても検査・治療が全く異なります。原因となっている微生物を突き止め、適切な治療につなげていくことが感染症科の重要な役割となります。

抗生物質の乱用などにより、抗生物質が効かない薬剤耐性菌の増加が話題となっており、抗生物質が効かない感染症で多くの命が奪われるようになると世界的に危惧されており、日本も例外ではなく、国全体で薬剤耐性菌の発生を抑えていくための取り組みが提案されています。感染症科として、このような薬剤耐性菌を“つくらない”、“ひろげない”活動が期待されていると感じています。

感染症科は日本ではまだ一般的な存在ではありませんが、今後重要視される科の1つと考え、診療だけでなく、地域への情報発信も行っていきたいと思っております。

## ● 当院の感染症科で取り扱う疾患

- ・ 敗血症・菌血症（血液から菌が検出される）などを中心とした各臓器の感染症
- ・ HIV感染症
- ・ 梅毒
- ・ 抗酸菌感染症など

## ● 感染症科部長

渋江 寧（しぶえ やすし）

聖マリアンナ医科大学卒。北海道大学大学院卒。

日本感染症学会感染症専門医。日本内科学会総合内科専門医・指導医。Certificate in Travel Health™（国際渡航医学会認定医）。ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor。日本エイズ学会認定医。

北海道大学病院、その関連病院、東邦大学医学部微生物・感染症学講座、東京高輪病院等を経て2017年4月から当院へ勤務し2018年4月より現職。内科医として開業している父の背中をみて育ち、自分も臨床医として人の役に立ちたいと思い、医師になりました。感染症を専門に選んだのは、標準的な教科書に書かれている診療内容と、周囲で行われていた診療内容が大きく異なっていた実情を目の当たりにし、この分野をより深く、広く勉強したいと思ったからです。

趣味・息抜きは読書、音楽鑑賞で、たまにバンド活動としてボーカルやベースを担当しております。





## Q1. 渋谷先生の病院でのお仕事内容を教えてください。

- ➡ 感染症のコンサルテーションという形で、主に入院中の患者さんの診療を担当しています。主治医の先生から相談を受け、感染症や、それと似たような症状を起こす疾患の診断や治療を検討することが主な業務です。また、看護師、薬剤師、検査技師らと協力し、院内の感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チームのメンバーと連携し、薬剤耐性菌をうつさない、つぐらない活動を行っています。

## Q2. どのような症状があったら感染症が疑われますか？

- ➡ 感染症による症状の一般的なイメージは発熱だと思います。多くの感染症では微生物が侵入して体の免疫を担当する細胞が反応して熱がでます。ただし、必ずしも熱がでず、局所的な症状しかないこともあり、一概にはいえません。逆に熱があっても感染症以外が原因のこともあります。

## Q3. Q2のような症状がでたら、まずはどうすればいいですか？

- ➡ 急に熱がでたら、まずは感染症にかかった可能性を考えますが、ウイルスによって起こる多くの風邪や腸炎の症状は自然に治ることが多く、必ずしも病院受診が必要ではないことがあります（有効な治療法がなく、自然に治るという意味です）。  
風邪に限っていえば、のどの痛み、鼻水、咳の3つの症状が揃い、食事、水分がとれる状況であれば、自然に治るウイルス性の可能性が高く、自宅安静で大丈夫なことが多いです。必ずしも高熱だから重症ということもなく、全身状態（熱の割に元気かどうかなど）が非常に重要になります。ただ、数日程度の経過で軽快傾向にならない場合、食事がとれない、全身のだるさが強いなどの場合は病院受診をお勧めします。

## Q4. かかりやすいのはどんな人ですか？

- ➡ 微生物の種類によって感染症にかかりやすい人は大きく異なりますが、一般的には高齢の方、免疫を抑える治療（ステロイド・免疫抑制薬など）、抗癌剤治療を受けている人が感染症にかかりやすいです。

## Q5. 予防接種をしていれば安心ですか？

- ➡ 予防接種をすれば100%安心という訳ではなく、予防接種の種類によってもその効果は異なります。ただ、一般的に勧められている予防接種は発症予防以外に重症化を予防する観点からも接種が推奨されています。

## Q6. 防ぐにはどうしたらいいですか？

- ➡ 微生物は自分の体、周囲環境にほとんどが目に見えない形で存在しており、これらによる感染症を抗菌薬などで予防することは不可能と考えます。標準的に推奨されている予防接種に関しては可能な限り接種することが望ましいです。普段から手洗い、うがいを行い、咳エチケットなど、自身が感染症にかかったらそれを周囲にうつさないよう行動することも重要です。

## Q7. お仕事のやりがいや今後の展望を教えてください。

- ➡ 私にとっての感染症診療は、微生物と人間の両方を理解していく作業であり、ライフワークといえるくらいに非常に興味をもって行っております。感染症科の必要性を理解し、科を設置していただいたみなと赤十字病院に感謝し、まずは病院全体の感染症診療、管理の質の向上に貢献できるように精進していきたいと思っています。また、海外渡航者に対するトラベルクリニックの開設も含め、外来患者さんに対するワクチン接種外来の準備もしていくつもりです。

# INFORMATION

## アレルギーセンター講演会

- 関節リウマチ教室 [年5回]  
第2回 7月2日(月)  
「関節リウマチの手術療法」 整形・関節外科 浅野医師  
第3回 9月25日(火)  
「福祉制度／療養生活」  
療養・福祉相談室MSW／アレルギーセンター保健師
- 小児喘息・アレルギー教室 [年3回]  
第1回 6月28日(木)  
「小児の気管支喘息」 小児科 柏崎医師

- ◆会場：当院 3階 大会議室
- ◆問い合わせ先：当院アレルギーセンター  
045-628-6381



## 糖尿病講習会のお知らせ

- 平成30年6月から9月のスケジュール
- 6月21日(木)  
14:00-14:50 「人工透析を避けるためには～糖尿病と腎臓病～」 上田医師  
15:00-16:00 「はかって学ぼう主食量！～楽しくグループワーク～」 大川管理栄養士
- 7月19日(木)  
14:00-14:50 「高すぎる血糖、低すぎる血糖、すぐに対処が必要です～糖尿病の緊急症～」 新井医師  
15:00-15:30 「注射薬にはどんな種類があるの？～インスリン以外の注射もある??～」 羽田薬剤師  
15:30-16:00 「糖尿病の合併症を防ぐ食事とは？～高血圧編～」 田代管理栄養士
- 8月(お休み) ー
- 9月20日(木)  
14:00-14:50 「私の薬はどの薬？～最新の糖尿病内服薬の話～」 張医師  
15:00-15:30 「糖尿病薬と低血糖の関係～低血糖ってお薬によってちがうの?～」 細内薬剤師  
15:30-16:00 「糖尿病の合併症を防ぐ食事とは？～脂質異常症編～」 輿水管理栄養士
- ◆会場：横浜市立みなと赤十字病院 3階 大会議室
- ◆日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00 ※4・8・12月はお休みです。
- ◆講師：医師・管理栄養士・看護師・薬剤師・理学療法士・臨床検査技師
- ◆問い合わせ先：  
横浜市立みなと赤十字病院 外来業務課 045-628-6330

参加  
無料

### 参加費・事前予約不要です！

当院通院中の方、他院通院中の方、どなたでも受講可能です。  
お気軽にご参加ください！

## 「しあわせを運ぶ花 すずらん」をありがとう！

平成30年5月31日、ANA（全日本空輸株式会社）グループから入院患者さんの回復を願い「すずらのしおり」が寄贈されました。

「しあわせ」「幸福の再来」などの花言葉を持つすずらん。しおりは、客室乗務員や地上スタッフの皆さまが勤務の合間に一枚一枚手書きをしたメッセージが添えられています。同グループによるすずらんの贈呈は1956年（昭和31年）から始まり、今年で63回目を迎えました。

客室乗務員さんが病室をまわり、入院患者さんにしおりを手渡しすると「元気をもらえます。ありがとう！」のお言葉があちこちから聞かれました。



# 耳鼻いんこう科(頭頸部外科)は 完全紹介制になります



**平成30年6月1日(金)**から、耳鼻いんこう科(頭頸部外科)にご受診される場合、**紹介状のご持参が必須となります。**

当科は、地域のかかりつけ医と連携し、急性期病院として手術や入院診療を中心とした体制を推進しています。

お近くの医療機関にご受診後、必ず紹介状をご準備のうえご来院ください。なお、紹介状をお持ちの方は予約をお取りできます。

•ご予約はこちら•

【医療連携課】 平日 9:00 ~ 16:00 ☎ 045-628-6365



また、**4月2日(月)**から、症状によっては他科にご受診いただくようお願いすること、または他院をおすすめすることもございますので、予めご了承ください。  
ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## トヨタL&F神奈川株式会社様より 車椅子10台をご寄贈いただきました!

平成29年12月8日(金)にトヨタL&F神奈川株式会社金子社長より創立50周年の取組として、最新型の車椅子10台をご寄贈いただきました。

ご厚意に感謝し、寄贈していただいた車椅子をより多くの患者さんに、またより長く使っていただけるよう、大切に活用してまいります。



トヨタL&F神奈川株式会社  
中央から金子社長様、渡辺常務様、松原課長様

# ハイブリッド手術室が完成しました

2017年9月より「ハイブリッド手術室」の増設工事を開始し、2018年4月にハイブリッド手術室が完成しました。現段階で使用を開始している診療科は、循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科です。今後、症例の必要性に応じて対象の診療科を拡大していく方針です。

ハイブリッドというのは、トヨタ自動車のプリウスによって一般に知られるようになりました。「2つ以上の異なったモーターとガソリンエンジンという2つの異なる動力源」を組み合わせるハイブリッドですが、手術室におけるハイブリッドの定義は、大きな広がりを見せつつあるのが現状といえます。

「ハイブリッド手術室システム」とは、麻酔装置などを備えた清潔な手術室内に、3D-CT撮影も可能な高性能の据置型X線透視装置を設置し、観血的な外科手術と血管内治療のいずれにも対応できる高度な未来型手術システムのことです。従来、血管造影室で行っていたカテーテルを使用した血管内治療が、手術室でより清潔、安全に実施可能となります。

また、観血的な外科手術の最中でも、X線透視装置の使用により立体的な血管や臓器の3次元画像をリアルタイムで作成、観察しながら、その場でステントグラフトの挿入や血管内治療の併用が可能になります。

心臓血管外科領域においては、高齢化社会の進行に伴って増加する大動脈弁狭窄症に対して、血管内からアプローチして弁の狭窄部分をバルーンによって開大し、折りたたんだ人工弁（生体弁）を大動脈弁の位置に移植する方法、経カテーテル的大動脈弁置換術が実施可能になります。すでにこの方法は、国内で保険適用され、ハイブリッド手術室システムの設置が実施施設の条件となっています。これにより当院においても、経カテーテル的大動脈弁置換術が実施できることとなりました。今後、ハイブリッド手術室システムを活用して高度で安全な手術を実施してまいります。



## ～編集後記～

梅雨空の6月、夏至のある6月、しかしながら1年で唯一祝日のない6月。

1日くらい祝日ができないかな～…そんな想いを抱きながら日々お仕事に励んでいます。

と同時に、編集者は夏至を迎えると、「これからは日が短くなるのか…」となんだか寂しい気持ちになります。きっと同感してくれる方はいるはずです！

暑さに負けず、太陽の恵みに感謝して楽しい夏にしましょうね♪

